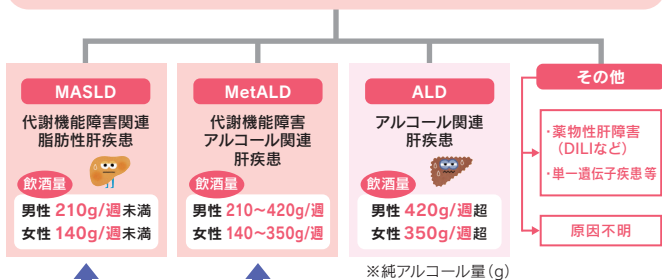


16 MASLD(マッスルディ)と言われました。何が怖いのでしょうか。

A 「脂肪肝」は肝臓に中性脂肪が過剰に蓄積した状態で、最近では、「SLD(脂肪性肝疾患)」と呼ばれるようになりました。SLDは、心代謝系危険因子の有無や飲酒量に応じて、MASLD、MetALD、ALD、その他の4つに大別されます(下記参照)。その他はさらに、原因が分かっているもの(薬物性肝障害や単一遺伝子疾患など)と原因不明の2つに分けられます。

脂肪性肝疾患(SLD)



心代謝系危険因子(成人)

少なくとも以下の5つの項目のうち1項目を満たす

-  肥満
 -  高中性脂肪
 -  糖尿病
 -  低HDL血症
 -  高血圧
- (治療中も含む)

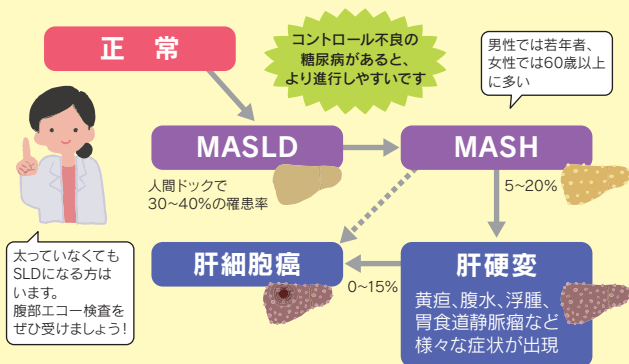


MASLDについて

● MASLDは頻度の高い疾患です。

MASLDは過食や運動不足その結果起こる肥満や生活習慣病によって、肝臓を構成する肝細胞に中性脂肪を中心とする油滴が過剰に溜まった状態です。MASLDの有病率は約30%で年々増加傾向にあります。自覚症状はほとんどないため、特に肥満、糖尿病、脂質異常症、高血圧などがある場合は一度は腹部エコー検査を受けることをおすすめします。

MASLDのゆくすえ



肝疾患以外にも、様々な合併症に注意が必要!

・心血管疾患

心筋梗塞、心不全、心房細動、脳梗塞

・肝臓以外の悪性腫瘍

大腸がん、乳がん、膵がん、子宮がん

・その他

不眠、うつ病

睡眠時無呼吸症候群

慢性腎臓病

胃食道逆流症、大腸腺腫など



MASLDについて

● MASLDが進行すると…

MASLDの患者さんのうち、約20～30%は肝疾患関連死のリスクが高い代謝機能障害関連脂肪肝炎(MASH・マツシュ)とされています。MASHは治療をしない場合、5～20%が肝硬変へ進行し、そのうち年間約2%に肝がんが発症すると言われています。近年、日本を含む世界中でMASHが原因の肝がんが増加しており、早期発見・治療が重要です。現在、MASLDに対する治療薬の開発も進められています。

● 肝臓だけではなく、全身に影響があります。

MASLDの患者さんの死因の多くは心血管疾患(心筋梗塞、脳梗塞など)、肝臓以外の悪性腫瘍(大腸がん、膵臓がん、子宮がんなど)です。次いで、肝硬変や肝がんなどの肝疾患関連死です。これらを予防するために肥満、脂質異常症、2型糖尿病、高血圧、高尿酸血症などの生活習慣病の検査や治療が必要です。また、MASLDはうつ病や睡眠障害、認知症、慢性腎臓病や骨粗鬆症など全身の疾患に関係することがわかっています。

